

世田がや 区議会だより

発行 平成11年4月27日 〒154-8504 世田谷区世田谷4丁目21-27 世田谷区議会 ☎(5432)1111代表

●この区議会だよりは再生紙を使用しています。



No.169
4/27

第1回定例会の主な会議日程
 3月1日 本会議(代表質問)
 2日 本会議(代表質問、一般質問)
 3日 本会議(一般質問、議案の付託、議案の議決)
 9日 本会議(議案の議決)
 10日~24日 予算特別委員会
 29日 本会議(議案の付託、議案の議決)

平成11年度予算が成立 第1回定例会開催



砧公園

議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。今回の定例会では、区長から38の案件が、議員から1件の案件が提出され、すべて原案どおり可決しました。

- 11年度各会計予算 4件
 - 一般会計 賛成多数
 - 国民健康保険事業会計 賛成多数
 - 老人保健医療会計 賛成多数
 - 中学校給食費会計 賛成多数
- 10年度各会計補正予算 2件
 - 一般会計(第三次) 賛成多数
 - 国民健康保険事業会計(第二次) 賛成多数
- 条例の新設 3件
 - 風景づくり条例 賛成多数
 - 環境美化推進地区指定条例 賛成多数
 - 条例の改正 21件
 - 組織条例 賛成多数
 - 公害防止条例(北沢2丁目、代沢5丁目30、32及び両区域に接する道路)を、環境美化推進地区に定めた。
 - 感染症検査協議会条例(全員賛成)
 - 条例の改正 21件
- 職員給与条例 賛成多数
 - 職員給与を改定した。
 - 職員の勤務時間・休日・休暇等条例(全員賛成)
 - 法律の改正に伴い、育児や介護を行う職員の深夜勤務の制限を定めたことなど。
 - 地区会館条例 賛成多数
 - 野沢区民集会所の位置を野沢4丁目24-1に変更し、使用料を改定した。
 - 支所設置条例 賛成多数
 - 文化生活情報センター条例(全員賛成)
 - ワークシヨップ室の使用期間を延長する。
 - 精神薄弱の用語整理のための関係条例の一部改正条例(全員賛成)
 - 法律の制定に伴い、条例で使用している「精神薄弱」を「知的障害」に改めた。
 - 高齢者センター条例(全員賛成)
 - 高齢者住宅サービスセンター条例(全員賛成)
 - 以上の2件は、世田谷区社会福祉協議会に管理委託していた施設の委託先を、世田谷区社会福祉事業団に変更した。
 - 心身障害者福祉手当条例(全員賛成)
 - 法律の改正に伴うもの。
 - 女性福祉資金貸付条例(全員賛成)
 - 貸付限度額や貸付利率を改定した。
 - 国民健康保険条例 賛成多数
 - 都の条例改正に伴い、保険料率を改定したことなど。
- 区営住宅管理条例(全員賛成)
 - 次の住宅を新設することなど。
- 住宅名 所在地

アザレア経営	経営1丁目6-16
パークサイド野沢	野沢3丁目3-12
- 高齢者借上げ集合住宅条例(全員賛成)
- 高齢者借上げ専用住宅条例(全員賛成)
- 以上の2件は、使用者資格を変更することなど。
- 自転車条例(全員賛成)
 - 撤去自転車等の保管期間を2カ月から1カ月に短縮した。
- 公園条例(全員賛成)
 - 大原1-1公園(大原1丁目1-1)及び宇奈根ハンカチ公園(宇奈根3丁目2-5)を新設するとともに、北沢3-24広場及び深沢1-28遊び場を区立公園に位置付け、それぞれ「本松公園」、「深沢1丁目緑地」とした。
 - 身近な広場条例(全員賛成)
 - 大山谷広場(北沢5丁目42-13)及び岡本地区会館広場(岡本1丁目25-4)を新設し、桜丘2丁目南児童遊園の名称を「桜丘2丁目南広場」に変更するとともに、区立公園に位置付けた北沢3-24広場を廃止した。
 - 総合運動場条例
 - 賛成多数
 - 総合運動場の管理を、世田谷区スポーツ振興財団に委託したことなど。
 - 千歳温水プール条例
 - 賛成多数
 - 使用料や減免基準を改定することなど。
 - 学校設置条例
 - 賛成多数
 - 下馬幼稚園(下馬3丁目14-9)を廃止した。

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候のあいさつ状などは禁止されています。

代表質問

3月1日及び2日の本会議で、6名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その要旨をお伝えします。

自由民主党

新田 勝己議員

景気は依然として低迷し、区財政は危機的状況にある。このような中、介護保険の実施などの区政の緊急課題に着実に対応するには、財政構造の抜本改革が不可欠だ。①11年度の予算編成方針を示せ。②今後、どのような基本姿勢で財政運営に臨むのか。

助役 ①区民生活に直結する施策への財源配分を基本とした。②必要な財源の確保に全力で取り組んでいく。

職員定数の大幅削減を求めているが、11年度は何人削減する見込みか。②福祉系の外郭団体の統廃合は、最小の経費で最大の効果を生み出せるよう、事業内容などを十分に精査して進めよ。

助役 総務部長 ①清掃事業移管の準備などに人員を充てる一方で、更に42名を削減したい。②改革を進めていく。

公明党

諸星 養一議員

区財政の先行きは、まさに不透明な状況だ。21世紀を見据え、区民の視点に立つた行政改革を断行せよ。

助役 在宅サービス部長ほか ①当面法定給付サービスを確実に提供していく。②待機者ゼロの実現に努める。

保育事業の抜本的改革に取り組み、保育園の待機児解消に努めるとともに、保健福祉部長 数の上では解消の見通

容を十分にPRせよ。②区による清掃事業の実施に当たっては、きめ細かい対応ができるよう、準備に万全を期せよ。

助役 区民に、より身近で便利な行政サービスを展開していく。

助役 ①学童クラブとBOPの統合では、(ウ)区は、議会に当初説明した内容を、職員組合との協議で、行革に反した内容に変えた。これは、区民や議会を軽視したものであり、非常に問題だ。

助役 教育長 ①(ア)新BOPの実績などを踏まえ、引き続き統合に取り組む。(イ)方針どおり進めたい。(ウ)今後十分検討したい。②早急に開設していく。

助役 ①大震災に対する区民の危機感が立ったので、改革を検討したい。

助役 ①区民の生命を脅かすダイオキシンへの対策が急がれる。区民の不安を解消するため、きめ細かな施策を展開せよ。②清掃事業移管後の世田谷型リサイクル社会のあり方を示せ。

助役 ①実効性ある取り組みを検討する。②区民、事業者と協働し、リサイクル型清掃事業を推進する。

助役 ①住宅に困窮している高齢者などが、区営住宅に優先的に入居できるように、ポイント制度を導入せよ。②高齢者などに対するボランティア活動を義務付けた若者専用住宅を設置するなど、若者の区内定住化策を実施せよ。

助役 ①今後十分検討したい。②福祉施策などと併せて検討する。

助役 スポーツや芸術などの分野で活躍する人を、学校の講師として活用する人材バンク制度を創設せよ。

助役 区全体で取り組んでいきたい。

新風 21

小泉 珠子議員

区政の本来の役割は、区民の生活をサポートすることだ。区は、区民が必要とする施策の展開に徹しよ。

助役 区民の期待に全力で応えよ。

助役 区民の期待に全力で応えよ。

助役 区民の期待に全力で応えよ。

助役 区民の期待に全力で応えよ。

助役 区民の期待に全力で応えよ。

助役 区民の期待に全力で応えよ。

助役 区民の期待に全力で応えよ。

助役 区民の期待に全力で応えよ。

助役 区民の期待に全力で応えよ。

助役 区民の期待に全力で応えよ。

社民党・民主リベラル

高橋 忍議員

11年度予算には、緊急性の高い施設の建設費が計上されていない。基金を活用すべきと考えるが見解を示せ。

助役 基金の活用など、財源の目的が付いた段階で予算化したい。

助役 区民が混乱しないよう、再編後の事業内容をPRせよ。

助役 万全の体制で取り組んでいく。

助役 区民が混乱しないよう、再編後の事業内容をPRせよ。

助役 万全の体制で取り組んでいく。

助役 区民が混乱しないよう、再編後の事業内容をPRせよ。

助役 万全の体制で取り組んでいく。

助役 区民が混乱しないよう、再編後の事業内容をPRせよ。

助役 万全の体制で取り組んでいく。

助役 区民が混乱しないよう、再編後の事業内容をPRせよ。

生活者ネットワーク

森田 イツ子議員

経済状況は依然として大変厳しい。①こうした中、区は11年度、増額予算を組んでいる。減税の実施など、一層の区税の減収が予想されるが、予算編成に問題はないのか。②将来に備え、基金の活用は最小限にとどめよ。

助役 政策経営室長 ①引き続き、健全財政の維持に努める。②基金残高に配慮しながら、活用を図っていく。

助役 介護保険の実施が目前に迫っている。①NPOや民間法人を活用するなど、保健福祉サービスの十分な質と量を確保せよ。②実施後に療養型病床群などの施設サービスの利用が増大すると、保険料の増加を招く。在宅サービスとの割合をどのように考えるか。

助役 ③保険対象外となるサービスの提供を継続するため、財源の確保に力を注げ。

助役 在宅サービス部長 ①区民や事

業者と協働して、新しい公共の形成を図っていく。②区民の意向に配慮し、サービス基盤を整備する。③国や都の補助金の確保に努める。

助役 男女共同参画社会の実現に向け、①施策を積極的に推進せよ。②区の部長級職員にも研修を実施するなど、職員意識改革に強力に取り組む。

助役 ①具体的な事業を展開していく。②研修の充実を努める。

助役 提案された風景づくり条例に基づいて、今後、具体的にどのような街づくりを展開していくのか。

助役 政策経営室長 区民や事業者と一体となって、新たな街づくりを目指す。

助役 創出に向けた施策を展開せよ。区長 様々な施策を組み合わせ、積極的に取り組んでいく。

一般質問

3月2日及び3日の本会議では、23名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その要旨をお伝えします。

小谷 勝議員(自民)

質問 商店街の活性化には、プレミアム付き共通商品券事業が有効だ。支援を拡充せよ。①建築事務などの支所への移管内容を、区民に十分PRせよ。②出張所の、(ア)機動力を高めるため、軽自動車を配備せよ。(イ)所長を課長級に昇進させよ。③羽根木公園プールを温水プールに建て替えよ。

助役 産業振興部長ほか ①更に支援していく。②広く周知に努める。③(ア)車の利用状況などを含め検討する。(イ)現行体制で進めたい。④課題を整理し検討する。

桜井 稔議員(共産)

質問 太子堂2丁目のマンション建設計画で、周辺の住環境の悪化が懸念される。街づくり条例の適合通知を撤回し、事業者に計画を変更させよ。②明葉大跡地の住宅建設計画では、住民の声を聞き入れて計画を見直すよう、住都公団に強く求めよ。③環7内側の地域に高齢者住宅が不足している。多様な手法を用いて、住宅を供給せよ。

世田谷支所長ほか ①現時点では安易に撤回すべきでないと考え。②住民との話し合いを続けるよう要請していく。③適切に公的住宅を配置したい。

大庭 正明議員(行革10番)

質問 都区財政調整で、都に配分される財源は、23区に代わり都が行う消防などの大都市事務に充てられるべきだ。ところが、都は、都区制度改革に伴う財政調整の見直しで、江戸東京博物館などの全般的な施設の運営費までも大都市事務に盛り込もうとしており、23区への配分が削減されることが予想される。この無謀な主張を撤回させよ。

区長 政策経営室長 全般的な施設の事務などは、大都市事務の範囲には入らないと、区側は強く反論している。今後も都区協議を続けていく。

石塚 一信議員(自民)

質問 緑を守り育てるために、区民80万本植樹運動を推進することは、大変有意義だ。①区内の樹木が、他の自治体を水源とする河川などの恩恵を受け

て成長することで、区民生活も潤いを受けている。上流の自治体に感謝の意を表すとともに、より一層の相互交流も図れ。②将来にわたり緑が引き継がれるよう、植樹運動を強力に展開せよ。

区長 助役 ①関係自治体などとの交流を視野に入れた運動を推進したい。②緑の基本計画に基づき、保全・創出に力を尽くしたい。

菅沼 つとむ議員(自民)

質問 地域のボランティア団体が優先的に活動できる場を確保するため、出張所地区ごとに、けやきネットの対策外施設を設定せよ。②将来の商・工・農業を担う若手経営者などの育成に向け、時間に制約されずに研修や議論ができる場を提供せよ。③多摩川の花火大会は、川崎市でも開催されているが、区でも別に行う必要があるのか。生活文化部長ほか ①けやきネットの改善の課題としたい。②できる限りの支援を続けていく。③同時開催に向け関係機関と協議を進めたい。

和田 勉議員(公明)

質問 傾斜地へのマンション建設などで、都市景観に関する紛争が起きている。提案された景観づくり条例に対する理解や協力を十分得て、世田谷らしい風景の形成に力を注げ。②清流の復活には、雨水の地下浸透による湧水の涵養が重要だ。谷沢川の水質を浄化するため、涵養地区内に雨水浸透槽を集中的に設置せよ。

政策経営室長ほか ①区民との信頼関係を築き、積極的に条例を運用していく。②清流復活と雨水浸透槽設置数との関連を調査したい。

木村 幸雄議員(自民)

質問 国民年金保険料の徴収率の向上に力を注げ。①玉川野毛公園の西側道路に歩道を整備せよ。②中町の谷沢川沿いの道路は、高齢者が散歩するなど、区民に大変親しまれている。(ア)愛称を付けよ。(イ)駒沢通りとの交差点の安全対策を講じよ。③上野毛駅へのトイレの設置を、事業者に求めよ。保健福祉部長ほか ①全力を挙げて取

り組む。①歩道の整備を順次進めていく。②(ア)検討する。(イ)都に働きかける。③要請するとともに、駅舎周辺への設置も含め、対策を検討する。

中塚 護議員(公明)

質問 ①病後児保育の施設が不足している。施設の拡充を急ぐ。②病児保育の施設の早期開設を望む。③知的障害者の親亡き後対策の充実が強く求められている。④入所施設の受入れ枠を十分確保せよ。⑤生活寮の運営費助成制度の活用と拡充を図れ。⑥施設整備の充実に向け、都と十分協議せよ。

助役 保健福祉部長ほか ①一層努力する。②入所待機者の解消に努める。③区独自の制度を十分活用し、民間施設の誘致などに取り組みたい。④引き続き調整を図っていく。

増田 信之議員(公明)

質問 保育サービスの拡充に向け、①保育ママの定年制を見直し。②区民による子育て相互援助事業を行え。③高齢者のリハビリなどに園芸療法を導入せよ。④学習障害(LD)児の通級学級を増やせ。⑤ペット条例の制定や動物保護協力員制度、ノラ猫の不妊手術費の助成を実現せよ。⑥池尻の騎兵山石段を車椅子で上れるよう改善せよ。

助役 保健福祉部長ほか ①適切な運営に努める。②検討したい。③研究していく。④実情を把握し取り組む。⑤検討していく。⑥早期に取り組み

内山 武次議員(自民)

質問 区の第一の使命は区民の生命と財産を守ることと考え、32年間の議員在職中、防災対策や道路整備の促進、小田急線の連立化などを強く訴えてきた。区は財政が厳しい中でも、区民生活の向上のため、行政改革や都区制度改革、エイトライナーの実現などの課題に果敢に挑戦しなければならぬ。こうした視点を踏まえ、21世紀に向けた区政に対する区長の見解を示せ。

区長 すべての人が、これからも住み続けたいと思うまちの実現に、区民と協働して引き続き全力で取り組む。

近岡 秀輔議員(自民)

質問 ①子どもの健全育成に向け、①改訂された学習指導要領に、積極的に対応せよ。②学校週5日制の完全実施に、万全な体制で臨め。③ゆとりある教育に力を注げ。④大人が子どもの話を十分聞く場を地域に設けよ。⑤道路の段差解消などを促進せよ。⑥介護保険の認定審査では、公平性を確保せよ。

教育長 教育政策部長ほか ①自主的な学校運営を支援していく。②子どもの居場所づくりを注ぐ。③積極的に取り組む。④検討したい。⑤整備に努める。⑥万全な体制で取り組む。

山内 彰議員(自民)

質問 清掃事業の区への移管後も、清掃職員は6年間、現行の部の勤務条件が適用される。これで早期収集など地域特性に合った事業を実施できるのか。①子どもたちが多くの教師と触れ合えるチームティーチング方式の授業を、積極的に展開せよ。②三宿・太子堂地区の街づくりでは、取得済みの土地を有効活用できるよう計画を見直し。教育長 制度改革部長ほか ①区が主体となり、清掃・リサイクル事業に取り組む。②区独自に補助教員を採用する。③効果的な事業の推進に努める。

唐沢 敏美議員(社・民)

質問 ①区民と行政の協働による区政を実現できる組織を整備せよ。②提案された景観づくり条例に基づいて世田谷らしい景観を保全・創出するため、

①区民の積極的な参加を促せ。②地域の資源を有効に活用せよ。③区内の緑を増やすため、区民80万本植樹運動を積極的に展開せよ。

助役 政策経営室長ほか ①区民の視点に立ち、身近な行政を目指す。②様々な手法により進めていく。③区民とともに活動に取り組んでいく。④区民や事業者と一体となって進めたい。

村田 義則議員(共産)

質問 ①デイホームの利用者で、介護保険実施により、利用が認められなくなる人が出てくる。引き続き通所できるよう、対策を講じよ。②千歳台の知的障害者通所施設は、補正予算を組んで早急に建設せよ。③深沢の大型店の出店計画では交通環境の悪化などが懸念される。どう認識しているか。④大型店出店の規制指導要綱を策定せよ。

助役 在宅サービス部長ほか ①ミニデイホームを整備する。②財源の目途が付けば対応する。③環境への配慮を求める。④引き続き検討したい。

鈴木 昌議員(自民)

質問 ①老人医療費の抑制に向け、①健康づくりの促進など、対策を講じよ。②高齢者のいきがい対策などにもつながる「老々介護」への支援を充実せよ。③生涯スポーツへの幅広い区民要望に応えるため、スポーツ振興財団の運営を支援せよ。④スポーツ少年団の育成にも取り組むよう財団を指導せよ。

教育長 保健所長ほか ①高齢者の健康増進に努めていく。②住民参加型のサービスを拡充したい。③多様な種目のスポーツ事業を展開していく。④支援していく。

市川 康彦議員(公明)

質問 ①住宅地の区民施設の夜間騒音などが、周辺住民の迷惑になっている。立地条件に合わせて、閉館時間を設定せよ。②玉川区民会館の利用者のため、駐車場を確保せよ。③学校の水飲み場などに、浄水器を早急に設置せよ。④都立大の跡地利用が遅々として進展しない。区は、今後どう対処するのか。玉川支所長ほか ①住民などの声を

聞き、地域に親しまれる施設を目指す。②工夫を凝らし、利用者の利便を図っていく。③安心して飲める水の確保に努めていく。④都と協議していきたい。

大場 康彦議員(自民)

質問 ①明葉大跡地の、①北側の都市計画道路の整備に着手せよ。②再開発では、地域のまちづくりに協力するよう、住都公団に強く求めよ。③組織改正に当たっては、区民からの意見を十分反映させるとともに、その効果を検証せよ。④緊急車両の通行の確保などにもつながる、違法駐車禁止条例を早期に制定せよ。

世田谷支所長ほか ①財源などの課題を検討したい。②引き続き要請する。③情報の共有化に努める。④関係機関と十分協議を行い、検討を進めたい。

質問 ①明大前駅前の都市計画道路の整備を推進せよ。②都市整備事業の支所への移管後、街づくりの計画機能はどうなるのか。③国や都の補助金などの設置に積極的に取り組め。④特に高井戸駅や東松原駅へのエスカレーターなどの設置を、鉄道事業者に要請せよ。⑤学校のトイレの改修を急げ。教育長 都市整備部長ほか ①着実に進める。②支所を中心に取り組んでいく。③整備の促進に努める。④協議を続ける。⑤積極的に進める。

質問 ①明大前駅前の都市計画道路の整備を推進せよ。②都市整備事業の支所への移管後、街づくりの計画機能はどうなるのか。③国や都の補助金などの設置に積極的に取り組め。④特に高井戸駅や東松原駅へのエスカレーターなどの設置を、鉄道事業者に要請せよ。⑤学校のトイレの改修を急げ。教育長 都市整備部長ほか ①着実に進める。②支所を中心に取り組んでいく。③整備の促進に努める。④協議を続ける。⑤積極的に進める。

一般質問 3ページの続き

下条 忠雄議員(改革派)

質問 [1]病気の区長が任期全うできるか。[2]区長擁護の自民、公明が批判に転じ行革を言い出した。彼等の要求丸のみで大場区政が持ったのではないか。[3]政治の圧力で膨らまされた委託費、補助金も行革の対象だ。病検診は地元医師会への利益供与が実態、健康保険で解決し見直せ。[4]医師会等が選挙をやめるのは利益誘導が目的、利権政治が日本を腐らす。政治的中立を求めよ。

山口 裕久議員(自民)

質問 [1]新BOPは、人件費がかさむ正規職員ではなく、当初の予定通り、非常勤職員で実施せよ。[2]文学館は、莫大な賃借料を払っている。巨費を投じて購入した瀬田4丁目広場に移動し、区民に親しまれる場とせよ。[3]地区会館の葬祭利用が円滑に行えるよう、施設を予約している人の協力を求めよ。教育長 保健福祉部長ほか [1]保護者の不安解消のため、当初は正規職員を配置するが、今後、事業の改善を検討していく。[2]多大な経費が掛かるなど、困難と考える。[3]十分努力する。

木下 泰之議員(無党派)

質問 [1]都は、小田急線連立事業での下北沢地区の地下化を表明した。①経緯を示せ。②歩いて楽しめるシモキタを守るため、街を分断する都市計画道路の整備は行わない。[2]国の騒音環境基準の改善に断固反対せよ。[3]二子玉川再開発は、交通量を増やし、大気汚染などを招く。計画を中止せよ。

西崎 光子議員(生活系)

質問 少子高齢化の進展など、社会情勢の変化に対応するため、男女共同参画社会の実現が急務だ。①女性の担ってきた子育てや介護が社会全体で支え

られる仕組みになるよう、関係部署が連携して取り組み。②創業支援熟練など女性起業家を支援する施策を積極的に展開せよ。③施策の評価基準に、男女共同参画推進の視点を取り入れよ。生活文化部長ほか ①施策の充実に向け、一層連携を深める。②創業に役立つ講座を実施する。③施策評価支援システムの開発に併せ、検討する。

斎藤 りえ子議員(新風21)

質問 [1]区政の透明性を高めるため、外郭団体に情報公開を早急に実施せよ。[2]開発中の施設評価支援システムは、区民との協働による政策形成を支援する仕組みにせよ。[3]都市整備事業の支所移管に伴い、導入される情報システムを、区民も活用できるものとして提供せよ。[4]廃園後の区立幼稚園は、華道や茶道などの活動の場に開放せよ。助役 制度改革部長ほか [1]円滑な実施に向け、各団体と協議している。[2]区民との情報の共有化に努める。[3]開発している。[4]有効活用を検討する。

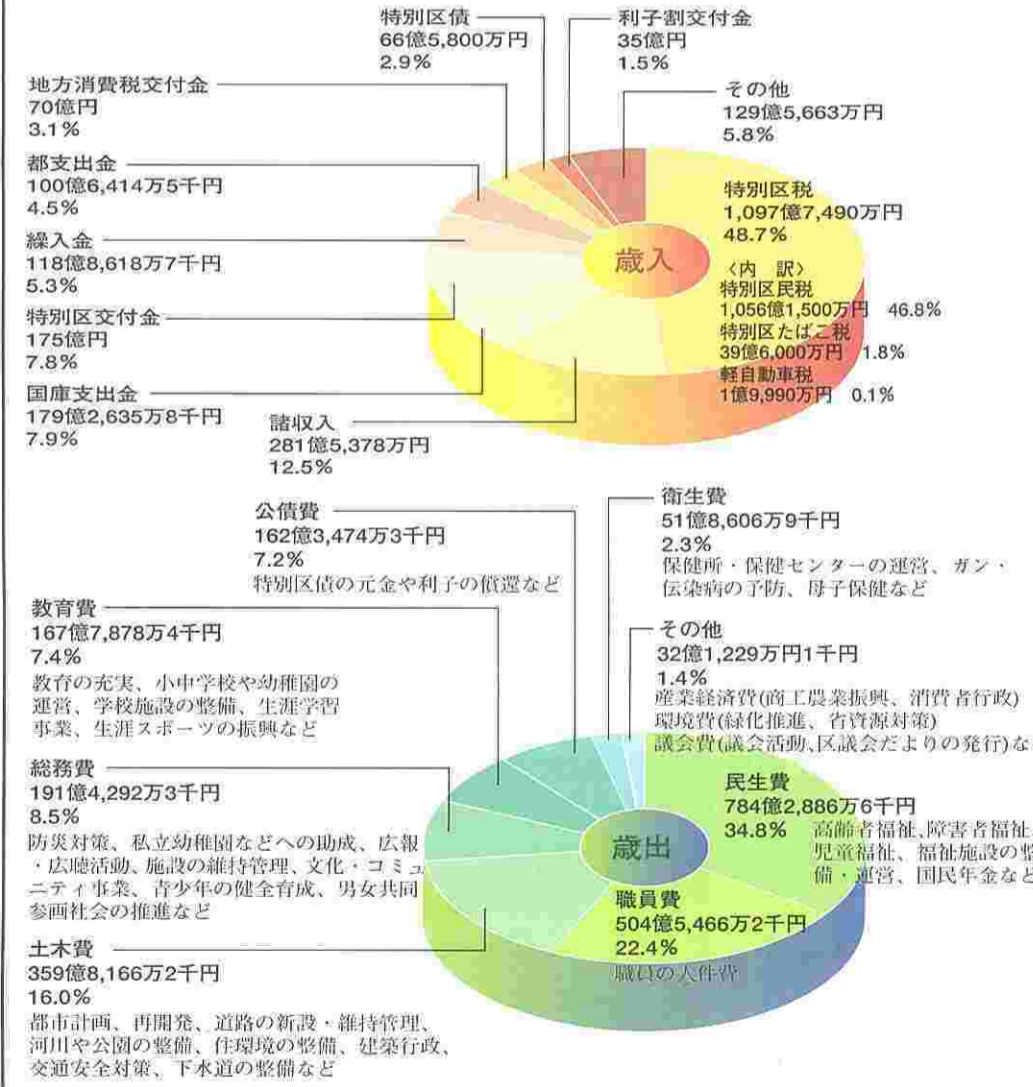
会派名 自民 自由民主党区議団 公明 公明党区議団 共産 日本共産党区議団 新風21 新風21 生活系 生活系者ネットワーキング区議団 社・民リ 社民党、民主リベラル 改革派 反政党・改革派 行革10番 世田谷行革10番 改革 改革 無党派 無党派市民



平成11年度 予算のあらまし

総額三三〇億円を超える平成11年度予算が成立しました。大変厳しい財政状況の中、対前年度比はわずかな伸びにとどまりました。この予算案は、3月3日の本会議で区長から提案され、予算特別委員会が7日間にかけて審議された後、3月29日の本会議で原案どおり可決されました。

一般会計予算の内訳 (%=構成比)



平成11年度各会計予算

Table with 3 columns: 内容 (Content), 予算額 (Budget Amount), and 対前年度伸び率 (%) (Change rate from previous year). Rows include General Account (1.1%), National Health Insurance (1.3%), Elderly Health Care (0.5%), School Lunch (-3.6%), and Total (1.0%).

区長の区議会招集 あいさつ(要旨)

財政状況が依然として厳しい中、行政改善に全力を尽くしてきました。今後は、具体的な数値目標を示した計画を策定するとともに、職員定数の削減などに積極的に取り組みます。地域振興券の交付を開始しました。区内5カ所の駅頭で、区民の方などと特別区制度改革の街頭PRを行いました。12年度の実施に向け、万全の態勢で準備を進めます。介護保険の円滑な実施に向け、高齢者などへの情報提供をきめ細かく行うために、地域保健福祉協力員制度などを創設します。区内初の痴呆性高齢者グループホームも開設します。さらに、保健福祉事業の効率的運営に向け、外郭団体の統合・再編を推進します。保育サービステキニゼロにするとともに、保育料は10年度のまま据え置くなど、引き続き子どもを安心して生み育てられる社会の実現に努めます。エイトライナーが、国の新規格整備計画に盛り込まれるよう、要請活動を積極的に進めています。緑豊かな世田谷らしい風景を守り育てるため、「風景づくり条例」を制定するとともに、植樹運動を進めます。地域産業の振興に向け、産業政策大綱を策定します。中小企業融資あつた制度の拡充などにも力を注ぎます。4月に、支所に街づくり部を設置します。これにより、地域の街づくりの権限と機能を大幅に強化し、放置自転車対策などを充実させます。また、身近なまちづくりの拠点として、出張所のあり方を抜本的に見直ししていきます。土木事業の経費を削減するため、行動指針や行動計画を策定します。学童クラブとBOPを統合した新BOPを、今後5年を目標に全小学校に導入します。また、学校施設と地域の人材を活用し、中学生の放課後活動の場の確保にも努めます。生涯スポーツ社会の実現に向け、設立したスポーツ振興財団の運営も支援していきます。

予算特別委員会での 主な質問・要望事項

企画総務領域

自由民主党

- 行政改革の断行（職員数の削減、民間委託の推進、施策の事後評価の徹底、庁有車の削減など）
- F M世田谷の経営安定化への進言
- 都区制度改革での財源の十分な確保
- 清掃事業移管への万全な準備（リサイクル推進、都との十分な協議など）
- 外郭団体と区の役割分担の明確化
- 地域振興事業の経済効果の調査
- 民間企業との人事交流の促進

- 桜丘小解体工事入札結果の検証
- 新たな入札制度の効果的な運用
- 公正・清潔な選挙活動への呼び掛け
- 公明党
- 行革の強力な推進（区民意見の反映、民間シンクタンクの活用など）
- 風景づくりへの強力な取り組み
- 清掃事業移管に向けた万全な準備
- 窓口の土日サービスの早期実施
- 都立大跡地取得への取り組みの強化
- 区独自の人事委員会の設置

日本共産党

- 真に区民の立場に立った区政の推進（福祉・教育優先の予算配分など）
- 私立幼稚園の保護者助成金の拡大
- 知的障害者の区職員への採用

新風 21

- 行政の効率化の積極的な推進（事務改善の徹底、ペーパーレス化など）
- 施策評価支援システムの一層のPR
- 地域情報化施策の強力な推進
- 生活者ネットワーク
- NPOへの支援強化
- マトリックス予算表の作成
- 社民党・民主リベラル
- 新ガイドラインの区への影響

区民生活領域

自由民主党

- 地域行政の推進体制の強化
- 支所の区民相談事業の拡充
- 出張所などでの議会中継の実施
- 区内への区立火葬場の建設
- 男女共同参画社会の早期実現
- 防災対策の強化（助け合い活動への支援、住宅密集地への施策充実など）
- サマータイム導入に備えた調査実施
- 農作物のダイオキシン調査の実施
- リサイクル施策の積極的な展開（商店街活動への支援など）
- 緑の保全・創出施策の強化（街路樹の育成、公共施設の緑化の促進など）

公明党

- 成人慶祝記念品の復活
- みどり会館駐車場の十分な確保
- ISO14001の早期取得
- ダイオキシン汚染防止施策の拡充
- 資源分別回収の強力な展開
- 震災時ラジオの普及促進
- 地域振興券交付事業の成果の検証
- 日本共産党
- 環境上問題な三子玉川再開発の中止（不十分な生態系の調査、大気汚染を招く交通量の増加、人口増加による防災上の危険）

新風 21

- 文生センター生活工房の利用促進
- けやきネットの改善
- 子ども110番活動への取り組み強化
- ごみ減量への積極的な取り組み
- 生活者ネットワーク
- 消費者保護対策の強化
- リサイクル施策の積極的な推進
- 緑の創出・保全への強力な取り組み
- 防災対策の一層の強化
- 反政・改革派
- 出張所業務の自動化によるリストラ
- 世田谷行革110番
- 問題ある区内共通商品券事業
- 改 革
- 環境行政における問題意識の欠如
- 無党派市民
- 二子玉アセスの代替案未記載は違法

福祉保健領域

自由民主党

- 医療費抑制に向けた福祉施策の展開
- 保健福祉事業の民間委託の促進
- 生活保護受給資格の厳正な認定
- 松沢病院での急患の受入れ要請
- 保健センター事業の効率的な展開
- 介護保険実施体制の確立（福祉人材の確保、保険料の確実な納付、要介護認定での公平性の確保など）
- 子育て支援策の拡充（年末・夜間保育の実施、育児相談窓口の設置）
- 失語症リハビリでのパソコンの活用
- 余裕教室のデイホームへの転用
- はり・灸・マッサージ事業の拡充

公明党

- 国立小児病院跡地の早期取得
- 介護保険実施への万全な準備

新風 21

- 子育て環境の整備（無認可保育施設への支援強化、休日保育の実施など）
- 特養ホーム待機者ゼロの早期実現
- 高齢者グループホームの整備
- 千歳台の障害者通所施設の早期建設
- 日本共産党
- 介護保険実施に備えた体制の整備
- 認可保育園増設による待機児の解消
- 低所得高齢者の国保料助成の継続
- 特養ホームの計画的な整備促進
- 新風 21
- 介護保険料決定での区民意見の反映
- 子ども施策の積極的な展開
- 福祉バスの一般区民への利用拡大
- 障害者施設生産品の開発への支援
- 生活者ネットワーク
- 障害のある高齢者への施策の充実
- 学童クラブでの障害児の受入れ促進
- 社民党・民主リベラル
- 介護保険実施に備えた施設の整備
- 障害児の学童クラブ通所年齢の延長
- 反政・改革派
- 少子高齢化時代の健診事業の見直し
- 世田谷行革110番
- 敬老祝賀事業の商品券支給の問題点
- 改 革
- 子ども本位の児童施策の展開
- 無党派市民
- 医師会立准看護学校温存の補助中止

都市整備領域

自由民主党

- 祖師ヶ谷大蔵駅周辺街づくりの促進
- 災害復興計画策定への万全な準備
- 生産緑地の追加指定
- 街づくり情報システムの有効活用
- 宅地開発業者への厳正な指導
- 土木事業のトータルコストの縮減
- 道路整備の促進（恵泉裏通りの早期開通、補助21号線の整備、都道の区移管の促進要請など）
- 小田急線高架下の活用の促進
- 桜上水駅の踏切の安全対策の要請
- 京王線連立事業の早期実現
- 小田急線騒音訴訟への勧誘問題

公明党

- 明葉大跡地利用への住民意見の反映

新風 21

- 芦花団地建替後の高齢者住宅整備
- パリアフリーの街づくりの促進
- 単身の若者向け住宅施策の実施
- 南北・希望丘バス路線の早期開通
- 交通安全対策の強化（カーブミラーの整備、チャイルドシート貸与など）
- 日本共産党
- 祖師ヶ谷大蔵駅東改札口の設置要請
- 二子玉川再開発の見直し
- 芦花団地建替時の区営住宅建設
- 経堂駅へのエレベーターの設置要請
- 新風 21
- 都市基盤整備への強力な取り組み
- 放置自転車対策の一層の強化
- 希望丘・桜上水間のバスの早期運行
- 土木と公園の管理事務所の統合
- 生活者ネットワーク
- 支所の街づくりへの取り組み強化
- 新玉川線の駅舎のパリアフリー化
- 社民党・民主リベラル
- 祖師ヶ谷大蔵駅東口の設置の要請
- 公園整備などでの災害対策の強化
- 反政・改革派
- エイトライナー選挙公約のベテニ性
- 世田谷行革110番
- 新規バス路線の運行開始遅延の問題
- 改 革
- 土地開発公社返還金の予算計上問題
- 無党派市民
- 小田急高架工事の進捗率は20%以下

文教領域

自由民主党

- 学校施設の整備（パリアフリー化の促進、給水設備の改善など）
- 高齢者向け生涯学習事業の展開
- 家庭教育学級への一層の支援
- 次大夫堀民家園の事業の拡充
- だれもがスポーツのできる環境整備
- 体協前会長の協会資金借用の問題点
- 心身障害学級の拡充（相談体制の充実、地域への増設など）

公明党

- 学校図書室の機能充実と体制整備
- リサイクル図書区民への提供促進
- BOPの早期全校実施
- スクールカウンセラー事業の拡充

新風 21

- 学校を選択できる仕組みの整備
- 余裕教室の効果的な活用
- 学校教育での地域人材の一層の活用
- 教育改革の強力な推進
- 中学生の居場所づくり事業の推進
- 外郭団体の不祥事の再発防止
- ほっとスクールの増設とPRの促進
- 日本共産党
- 老朽化した烏山中の早期改築
- 体協の協会資金貸借問題の徹底究明
- 給田小への新BOPの強引な導入
- チームティーチングの全校展開
- 新風 21
- 体協前会長協会資金借用問題の究明
- 学校へのインターネット導入の促進
- 学が楽しさを実感できる学校づくり
- 図書館の開館時間の延長
- 生活者ネットワーク
- 学校協議会の一層の活性化
- 体協前会長協会資金借用問題の究明
- 社民党・民主リベラル
- 子どもの安全を守る区民活動の展開
- 体協前会長協会資金借用問題の調査
- 反政・改革派
- 体協前会長の公金借用の目的等
- 世田谷行革110番
- 体協資金の貸借問題への区長の認識
- 改 革
- 体協資金の貸借問題の徹底調査
- 無党派市民
- 体協前会長事件を区は刑事告訴せよ



予算特別委員会 採決

平成11年度予算に対する 会派意見のあらまし

3月29日の本会議で、10人の議員が各会派を代表して、平成11年度各会計予算に対する意見を表明しました。その要旨をお伝えします。なお、意見表明者は次のとおりです。

- 自由民主党＝平山八郎議員
- 公明党＝和田勉議員
- 日本共産党＝田中美代子議員
- 新風21＝花輪智史議員
- 生活者ネットワーク＝森川礼子議員
- 社民党・民主リベラル＝高橋忍議員
- 反政党・改革派＝下条忠雄議員
- 世田谷行革110番＝大庭正明議員
- 改革＝鈴木義浩議員
- 無党派市民＝木下泰之議員



行政改革を断行し 小さな行政を実現せよ

自由民主党
（賛成意見）

厳しい財政状況の中、山積する課題を解決するには、肥大化した区政を「小さな行政」に転換する行政改革の断行が急務だ。この改革を進めるためには、区が直接行う仕事は、区民の生命や財産を守る施策など、行政にしかできない仕事に純化せよ。また、行政と民間の双方が取り組んでいる事業については、区はサポート役に徹するか、あるいは、民間に任せられた方が効率的な場合は、積極的に任せよ。更に、具体的には、職員定数の計画的な削減、民間委託の推進、外郭団体の運営の改善と整理統合を基本方針として、事業を徹底的に見直し、一日も早く行政改革を実現せよ。

迅速に把握し、多様化する区民ニーズに対応せよ。
区民生活の安全を守るには、都市基盤整備の促進が不可欠だ。街づくりは福祉であるとの観点から、交通量の多い生活道路の歩道未設置ゼロ、緊急自動車も入れない狭い道路ゼロ、放置自転車ゼロの実現に強力に取り組め。
我が党は、区議会議員の削減や、非常勤職員による新BOPの実施などを含めた1000人規模の職員数の削減、施設の維持管理業務の民間委託の推進などを強く提唱してきたが、その道筋は、いまだ明確にされていない。従って、11年度予算は100%満足できるものではない。しかし、厳しい経済情勢の下、不況に苦しむ区民の生活を最優先する責任政党として、11年度予算には賛成する。
21世紀の新しい時代に向け、今後とも、区政の主役である区民のために全力で取り組んでいく。

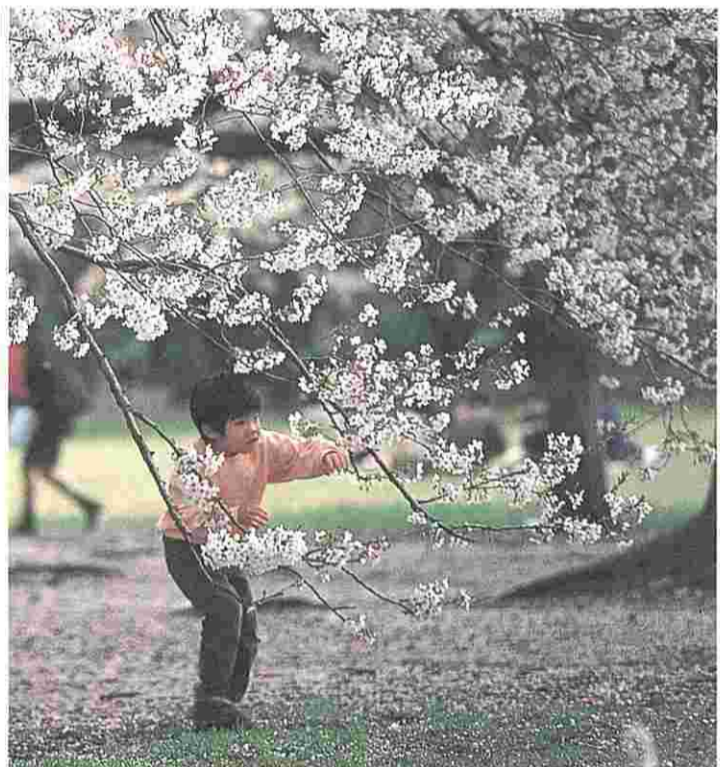


21世紀の世田谷を展望し 行財政改革を断行せよ

公明党
（賛成意見）

区財政が危機に瀕する中、区総体の抜本的な構造改革を、強く求めてきた。それにもかかわらず、行革は遅々として進展していない。行革条例に基づき行革推進委員会の発足も間近となり、区民の立場からの議論も始まろうとしている。今こそ、行財政改革を果敢に実行せよ。

更なる英断を求める。
地域振興券事業は、地域経済を活性化させ、景気浮揚への起爆剤となった。一層の景気対策として、プレミアム付き区内共通商品券の拡充や、融資制度の充実などを強力に推進せよ。
12年度に清掃事業を円滑に区へ移管するとともに、リサイクル事業の全区展開を図り、きめ細かな施策を推進せよ。また、ISO14001を早期に取得し、世田谷型の新たな資源循環型社会を構築せよ。
21世紀の世田谷を担う児童生徒の健全育成は、教育に携わる者を初め、すべての区民に共通する願いだ。「人の心を通い合うヒューマニズムあふれる教育」の実現に、全力を尽くせ。
体協の前会長による、協会資金の借用問題が報告された。このようなことが二度と起きないように、財政援助団体への指導を徹底するとともに、職員の意識改革を図れ。

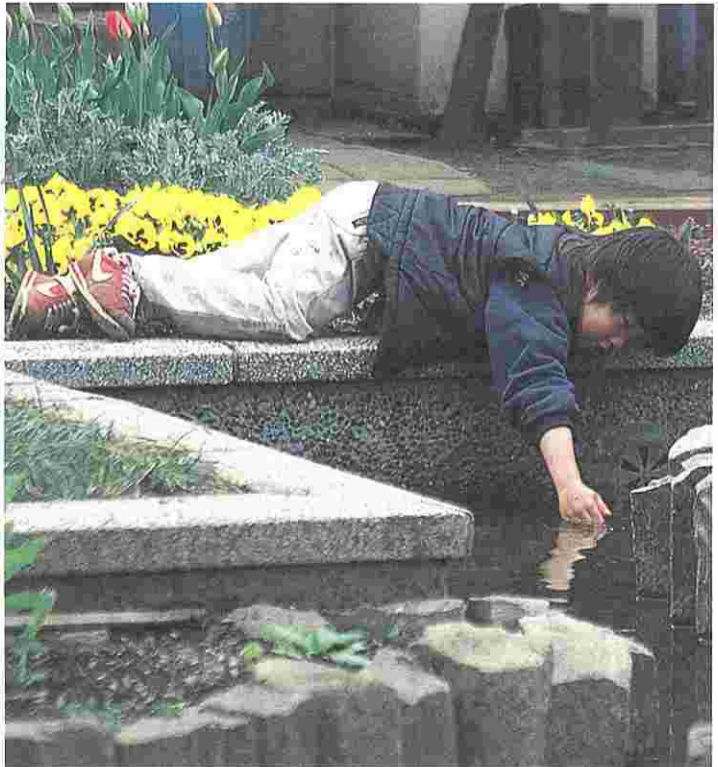


砧公園にて



福祉・くらし優先の 区民本位の区政運営を 日本共産党

（一般社団法人保護会社に反対その他の会計には賛成する意見）



フラワーランドにて

現在の区政は、保育料や使用料の値上げをするなど、区民本位のものから住民犠牲の区政運営に変わってしまった。その上、行革と称して学校給食の民間委託を公然と掲げ、一方で再開発事業に巨費を投じようとしている。このように福祉・くらしを切り捨て、開発を優先する一般会計予算に反対する。こうした立場から、区民福祉を向上させる具体的な対策が必要と考える。
まず、今後100億円もの税金を投入する二子玉川再開発事業は、即刻見直し。保育園の待機児の解消のためには、認可保育園の増設が不可欠だ。特に世田谷、玉川地域への整備に力を注げ。
介護保険が実施されても、現行の福祉サービス水準が低下することがあってはならない。保険料や利用料の未納者へのサービス差し止めが起きないよう、減免制度を設けよ。また、要介護認定の基準の改善を国に求めよ。更に、不足する施設の緊急整備や人材確保に
向けた財源を国や都に要請せよ。区独自の福祉施策の一層の充実も図るとともに、特養ホームの増設や、ホームヘルパーの増員にも取り組み。
学校教育では、早急にチームティーチングを全校で展開せよ。また、30人学級の制度化を国に強く求めよ。
小田急線駅周辺街づくりは、住民の意思を反映していない。街づくり条例の趣旨に基づき、住民参加で行え。また、大型店に秩序ある出退店を指導する要綱を策定せよ。景気対策緊急融資制度の利率も据え置き。更に、烏山中の改築や千歳台の障害者通所施設の建設は、補正予算を組み、早期に行え。
国保では、中間所得者層の保険料が大幅な値上げとなる。このように区民に負担を強いる予算にも反対する。
体協資金の借用事件は、協会幹部が組織的に行ったもので、極めて問題だ。区の指導責任も厳しく問われる。真相を徹底究明し、結果を公表せよ。

事務改善



行政の体質改善に 全庁挙げて取り組み

一新風 21
(賛成意見)

外郭団体とは本来、区の行政サービスを補完する役割を担っている。しかし、こうした役割のある外郭団体の一つであった、現在清算中の体協で、前会長が500万円もの協会資金を借用する事件が発覚した。これは、前会長の倫理観にも問題があるが、このようなことが簡単にできる仕組みに、根本原因がある。一般企業では到底考えられないことだ。まずは、事実関係などを徹底調査の上、責任の所在を明確にせよ。他の団体も含めて、二度とこうした問題が起きることのないよう、再発防止に向けた規則などの整備にも早急に取組み。また、協会資金の借用に直接関わった前事務局長が、この調査に携わることには、全く理解ができない。調査方法を再考せよ。更に、この調査は、区の教育委員会が行うのではなく、事件の当事者である体協の清算法人が実施する。これでは、きちんとした調査結果が得られるか心配だ。こ

うした問題を未然に防止するためにも、区は、外郭団体の情報公開の徹底に全力を注げ。

11年度予算に関しては、予算委員会審査を通して、区政全般について、多くの意見・要望を述べた。区は、これらを真摯に受け止め、今後の区政運営に生かす。

財政状況が非常に厳しい中、環境、教育、福祉、街づくりなどを充実するには、最小のコストで、最大のサービスの提供を実現することが大変重要だ。そして、税金を有効に使うには、職員のコスト意識と創意工夫が不可欠である。このことを職員自身が十分理解し、昨日より今日、去年より今年、他区よりも当区の方が良くなるようにと、勇気を持って日々の職務に取り組むチャレンジ精神を持つことだ。すべての職員は、この勇気を持って行政体質の改善と意識の改革に努め、新しい時代にふさわしい区政運営に強力に取り組む。

財源を有効活用し 区民福祉の向上を

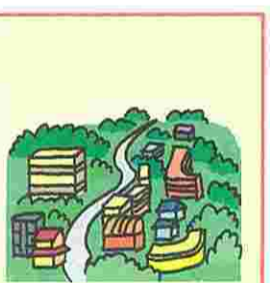
生活者ネットワーカー
(賛成意見)



介護保険制度の実施が目前に迫っているが、要介護認定の公平性の確保や自治体の財政負担など、課題が多い。区に制度の改善を働きかけよ。また、区は現在の保健福祉サービスの水準を維持し、障害者や低所得者に十分配慮した保険制度を確立せよ。同時に、区民への周知にも努めよ。

清掃事業の移管に向け、リサイクル施策を一層推進しなければならぬ。環境教育の実践の場ともなるリサイクル

11年度の支所への緑化対策や街づく



行政の原点に戻り 住民参加のまちづくりを

社民党・民主リベラル
(賛成意見)

昨今の厳しい経済情勢の中で、創意工夫を凝らし、財源確保に努め、基金を残してきたことは評価する。しかし、11年度予算では、福祉施設や下馬防災職員住宅の建設、烏山中の改築などが、昨年度に引き続き計上されず、先送りされた。このような緊急課題にこそ、積極的に基金の活用を図れ。

12年度の都区制度改革の実施に向け、都区間の財源配分の折衝が大詰めを迎えている。その協議に当たっては、区の基本方針を区民や議会に示し、一体となって取り組む。

体協前会長が、協会資金の借用問題で名誉区民を辞任した。こうした問題が二度と起きないよう、新たに設立したスポーツ振興財団を含め、すべての外郭団体への指導を強化せよ。また、名誉区民の選考は一層慎重に行え。80万本の植樹運動が、スローガンだけで終わることのないよう、実施計画を策定し、着実に実行せよ。

既に指摘した道路の不法占用で、いまだ改善されていないものがある。こうした悪質なケースには、支所に新たに設置する街づくり部で、更に厳しく対処せよ。

区は、中学校の教科教室型の方式を学校改革指針で掲げ、モデル校まで建設していきながら、いまだ実現していない。早期に実施せよ。更に、教員の研修など、人材育成にも努めよ。



りなどの事務移管では、地域の実情に即した施策のきめ細かな展開が求められている。放散自転車対策の実効性を高めるため、支所を挙げて強力的に取り組め。また、区民80万本植樹運動の着実な推進に向け、生け垣緑化や屋上緑化など、地域特性を考慮した緑の保全・創出策を展開せよ。地域全体の将来を見通した街づくりの推進にも努めよ。

これからの区政運営には、介護保険やまちづくりなど、どの分野において

も区民などのパートナーシップが欠かせない。NPOや民間事業者などが区政に参加できる場を設け、活動を支援する仕組みを確立せよ。

体協での協会資金貸借問題は、区民の信頼を裏切るものであり、大変遺憾だ。徹底した調査を行い、早急に事実を解明せよ。また、外郭団体の監査の改善や情報公開などに強力に取り組む。都区制度改革に伴う財政調整制度の見直しでは、財源の確保に力を注げ。



リストラは既得権益の切除から 反政党・改革派

反政意見

リストラは、既得権益を切って完成する。医師会に対する32億円の丸投げは見直せ。地域振興券などの物乞い政治は国民を墮落させる。自民の公明に対する援助交際費の支給はやめよ。地下鉄12号線は300億円の欠損。エイトラ

インナーを公約とするのはベテナだ。住民票の交付は自動化で。出張所を抜本的に見直せ。平成8年の衆院選の公報には学歴詐称の疑惑がある。体協前会長の500万円公金借用は選挙がらみか。

認識がずれた予算案には反対 世田谷行革10番

反政意見

区長の予算編成権は、選挙を通じて区民から信託されたものであり、予算は、区長の方針そのものである。しかし、予算審議の中で、区長は、11年度に何をしようとしているのか、現在の難局に対し、どういった問題認識を持つ

ているのか、明確に示さなかった。従って、すべての予算案に反対する。更に、区長が議会での支持基盤を失った今の状態では、今後の区政を運営していくのは到底不可能。

混乱した時代の中で、区でも様々な課題が山積している。こうした状況で、困難な問題を先送りせず、区民の望む方向で、解決に努力することが、大変重要だ。そうした意味では、特定の団体が利益を得るような施策を進めるこ

区民が望む区政の実現を 改 革

反政意見

とは、絶対にあつてはならない。まずは、区民の立場に立った区政の実現に全力を注ぐべきだ。このようなことを踏まえ、区長選では、区民の真剣な議論に基づく審判を、謙虚に仰ぐべきだ。

無党派市民

腐敗を断ち、乱開発を阻止せよ

反政意見

名譽区民である体協前会長の協会資金の借用は刑事事件だ。事件発覚から公表までの間に、金を返却させ借借書を破棄したのは、証拠隠滅で犯罪だ。真相と責任を徹底究明せよ。

区の最重要課題は、良好な住環境を

守ることだ。まず、超高層・大規模再開発をやめるとともに、区内の小田急線は全線地下化せよ。また、車の排ガスは発着だけでなく、環境ホルモン作用もあり、深刻。道路新設を抑制せよ。

第2回定例会は、6月に開催する予定です。

議決内容のつぎ

●工事請負契約の締結 2件(全員賛成)
○桜丘小学校旧校舎解体工事
契約金額一億八千九百九十九万九千九百九十九円

○仮称国土館坂通り整備工事(その2)
契約金額一億六千七百五十九万九千九百九十九円

○町区域の変更 1件
賛成多数 賛成:自公共、新風、生活系、社・民リ、改革派、行革、改革
反対:無党派

○区道路線の認定 4件
賛成多数 賛成:自公共、新風、生活系、社・民リ、改革派、行革、改革
反対:無党派

所在地	延長(m)	賛成多数
喜多見9丁目18	八九・〇〇	賛成:自公共、新風、生活系、社・民リ、改革派、行革、改革 反対:無党派
成城9丁目3	五七・〇七	賛成:自公共、新風、生活系、社・民リ、改革派、行革、改革 反対:無党派
宇根2丁目	九〇・九六	賛成:自公共、新風、生活系、社・民リ、改革派、行革、改革 反対:無党派
上祖師谷1丁目4	八八・〇四	賛成:自公共、新風、生活系、社・民リ、改革派、行革、改革 反対:無党派

●人権擁護委員候補者の推薦 1件(全員賛成)
次の候補者を法務大臣あてに推薦することとした。

並木 明 (南鳥山4丁目6-19 農業 再任)

小名雄一郎 (豪徳寺2丁目17-19 弁護士 新任)

●議員提出議案 1件

○区議会委員会条例の改正
賛成多数 賛成:自公共、新風、生活系、社・民リ、行革、改革
反対:改革派、無党派

第1回臨時会の議決内容

1月12・13日に開催された臨時会で議決された案件の概要をご紹介します。

○10年度一般会計補正予算(第二次)
賛成多数 賛成:自公共、新風、生活系、社・民リ、行革、改革
反対:改革派、無党派

地域振興券交付事業の予算を追加した。補正額は、三億四九六八万九千円。補正後の予算額は、二億三〇〇億四八一七万六千円。

請願

皆さんから出された請願・陳情の審議結果などをお知らせします。

第1回臨時会分

●趣旨採択したもの 5件
○男女平等教育の一層の推進と出席簿等の男女混合名簿の全校実施検討をもとめる請願(全員賛成)

○「障害者雇用支援センター」設立に関する協議の場を求める陳情(全員賛成)

○東京空襲犠牲者氏名記録の促進を求める意見書採択に関する陳情(全員賛成)

○区立総合運動場テニスコートの有効利用その他に関する請願(全員賛成)

○二子玉川東地区第1種市街地再開発事業に関する陳情(賛成多数 賛成:自公共、新風、生活系、社・民リ、行革、改革
反対:改革派、無党派)

●取り下げを承認したもの 1件
○都市計画税の軽減措置の継続につき意見書の提出を求める陳情

○都市計画税の軽減措置の継続につき意見書の提出を求める陳情

●新しく出されたもの 1件
○区民生活委員会審査するもの 1件

○サミット深沢店の食料品店舗撤退に関する陳情

●福祉保健委員会審査するもの 1件
○学童クラブとBOPとの統合に関する陳情

●都市整備委員会審査するもの 4件
○犬の遊び場広場の開放に関する陳情

○カテリーナ三宿(仮称)新築工事に関する請願

○(仮称)カテリーナ三宿新築計画変更に関する請願

○等々力1丁目国分寺崖線上の緑の保全に関する陳情

●議会運営委員会審査するもの 1件
○世田谷区議会の議員定数に関する請願

●交通対策委員会審査するもの 1件
○成城学園前駅南口におけるバス停車に関する陳情

第1回定例会分

●採択したもの 2件
○等々力1丁目国分寺崖線上の緑の保全に関する陳情

○「願意に沿うよう努力されたい」との意見を付けました。

○成城学園前駅南口におけるバス停車に関する陳情

●新しく出されたもの 1件
○都市整備委員会審査するもの 1件

○上野賀3丁目に建設予定の「ファミール」上野賀(建築主丸紅株)の建設一部変更に関する請願

要望書

区議会は、次の要望書を関係機関あてに提出しました。

東京空襲犠牲者氏名の調査・記録に関する要望書

東京では、第2次世界大戦における空襲で、推定10万人余りの犠牲者が出ました。

あの痛ましい戦災の事実を悲しむべきことであり、二度と繰り返してはなりません。

平和への思いを確たるものとするためには、戦争による空襲で命を奪われた人々を悼み、平和を祈念する思いを後世に継承することが必要です。

しかし、これまで東京空襲犠牲者の氏名の系統的な調査・記録は行われておりません。また、戦後53年が経過した今日、東京空襲を語る方も少なくな

り、戦禍の資料も失われつつあります。よって、世田谷区議会は、東京都において、早急に東京空襲犠牲者氏名の調査・記録に着手されますよう要望いたします。

平成10年12月25日
東京都知事 あて

アメリカ合衆国の未臨界核実験に抗議するのと同時に、今後のあらゆる形態の核実験の即時中止を求める要望書

核兵器廃絶、核実験の禁止、軍縮と恒久平和は、世界中の人々の共通の願いである。

世田谷区議会は、すでに、貴国の未臨界核実験に対し、繰り返し抗議するとともに、今後の一切の核実験禁止を強く求めてきたところである。

しかるに、貴国は、2月9日(日本時間2月10日)、ネパダ州の地下核実験場において、6回目の未臨界核実験を行ったことを発表した。また、今後、さらに1回の実験を予定し、来年度予算案にも実験計画が盛り込まれていると報じられている。

こうしたことは、核軍縮を求める世論が高まる中、核兵器廃絶と恒久平和を求める人類共通の願いを踏みにじる行為といわざるを得ない。

よって、世田谷区議会は、ここにすべての核実験は人類の生存を脅かすことにはかならないことを再度強調し、貴国が実施した未臨界核実験に対して改めて厳重に抗議するとともに、今後のあらゆる形態の核実験を即時中止し、核軍縮の実現に先導的な役割を果たされるよう強く求めるものである。

平成11年2月18日
アメリカ合衆国大統領 あて

プラスチック製品の材質表示の義務づけを求める要望書

発がん性や免疫系への影響等が指摘されているダイオキシン類による環境汚染は、国の調査でも、諸外国に比べ高い数値を示すなど深刻な状況となっております。区民の不安は非常に高まっております。

ダイオキシン類は、主にごみ焼却によって発生するとされており、とりわけ、塩化ビニル等の塩素を含むプラスチック製品の焼却が主な増加の要因とされており、分別を徹底し、焼却によらない適切な処理を図らねばなりません。その前提として、プラスチック製品の材質表示が行われることが必要不可欠であります。

よって、本区議会は、貴国に対し、区民の生命と健康を守るため、ダイオキシン類の発生抑制対策として、次の事項について、実効ある措置を講ずるよう強く要望いたします。

一 すべてのプラスチック製品の材質表示の義務づけを実施すること。その際、表示方法は、年少者や高齢者等を初めだれにとっても分かりやすいものとする。

平成11年2月18日
内閣総理・厚生・通商産業・自治大臣、環境庁長官 あて

正副委員長の互選結果の報告

○予算特別委員会
委員長 鈴木 昌二(自民)
副委員長 和田 勉(公明)
副委員長 森田イツ子(生活系)

●会派名の変更と議員の辞職など
「長期オール与党談合区政を改革する派」は、1月11日付けで「反政党・改革派」に会派名を変更しました。

真鍋欣之議員(自民)と花輪智史議員(新風21)は、4月1日付けで、区議会議員を辞職しました。また、鈴木義浩議員(改革)は、4月18日に、他の公職選挙に立候補したため、区議会議員を失職しました。この結果、区議会の会派構成は、次のとおりになりました。

自由民主党区議団	19人
公明党区議団	10人
日本共産党区議団	5人
新風	4人
生活者ネットワーク区議団	4人
社民党・民リベラル	3人
反政・改	1人
世田谷行革	110番
無党派市	1人
合 計	48人

(欠員7人)

永年在職表彰

五十畑孝司議員(自民)が、在職20年の功績により特別区議会議長から表彰されました。(伝達式は3月29日に本会議場で行われ、区長からも感謝状が贈られました。なお、下条忠雄議員(改革派)は、受賞を辞退しています。

編集後記

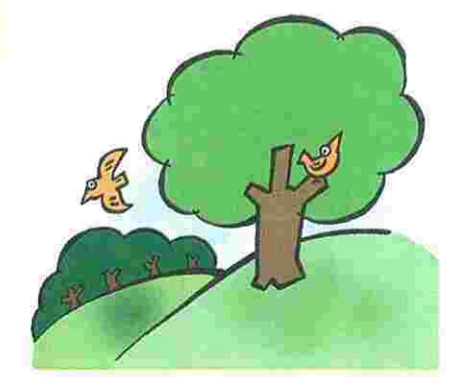
○今回の定例会では、29名の議員が、財政や福祉、教育などの区政の様々な課題について質問を行うとともに、11年度の予算を審査しました。これからは、区議会の活動が、区民の皆様にとってより親しみやすいものとなるよう、区議会だよりの編集に工夫を凝らしていきます。

○区議会定例会は、3、6、9、11月の年4回開かれます。傍聴にお越しになり、直接会議の様子をご覧になってはいかがでしょうか。

○目の不自由な方のために、区議会だよりのテープ版を発行しております。お知り合いでご希望の方がいらっしゃいましたら、ご連絡下さい。

○本紙に関するお問い合わせは、区議会事務局調査係までお寄せ下さい。

TEL (五四三三) 一一一一
FAX (五四三三) 三三〇三



本紙に掲載された質問や答弁等の内容を詳しくお知らせになりたい方は、会議録(本会議の分は6月上旬、予算特別委員会の分は7月上旬の発行予定)をご覧ください。なお、会議録は、区立図書館、区政情報センター、総合支所、出張所、区民センターに備えてあります。